

科目名称：	社会福祉概論 I	
担当者名：	荻原 園子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
第1に現代社会における社会福祉の必要性を社会保障制度とソーシャルワークを統合的に理解しながら解説します。第2に国家的政策課題にふれながら福祉政策と関連政策を解説します。第3に社会福祉にかかわる全般的な基礎知識の体系的学修と基本的用語を説明するなかで社会福祉の対象認識および援助観を含んだ社会福祉観について学んでいきます。		
授業の達成目標・到達目標		
①社会福祉の必要性の背景を説明することができる。②社会福祉の担い手と施設・事業の実態、その援助や支援の方法を説明することができる。③福祉の政策的課題について理解することができる。以上を通して、現代社会における社会福祉の必要性を説明することができる。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP (2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP (3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP (4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP (1)					0
ビジネスDP (2)					0
ビジネスDP (3)	70	15		15	100
ビジネスDP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容 1》	《経験年数 1》
	《内容 2》	《経験年数 2》
	《内容 3》	《経験年数 3》
	《内容 4》	《経験年数 4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 現代社会の福祉と社会福祉①として社会福祉の必要性とその担い手について講義します。その他に授業計画説明、授業成果カードおよび成績評価について説明します。	事前に現代社会になぜ社会福祉の領域や福祉専門職が必要かについて考えてください。事後に教科書「はじめに」を読んでください。	30分
第2回 現代社会の福祉と社会福祉②として日本における福祉施設および事業の種別の範囲について講義します。	事前に社会福祉の施設・事業の種別、その数がどの程度あるか調べてください。事後に配布プリントを確認してください。	60分
第3回 現代社会の福祉と社会福祉③として社会福祉の対象と政策課題について講義します。	事前に社会福祉の対象や範囲について、複数取り上げてその理由についても考えてください。事後に配布プリントを確認して社会福祉の対象と範囲についてまとめてください。	60分
第4回 社会福祉の援助・支援①として社会福祉の進め方でもある援助展開について講義します。	事前に教科書「福祉サービスと援助活動」(p284-300)を一読してください。事後に援助展開の各段階をまとめてください。	90分
第5回 社会福祉の援助・支援②として社会福祉の視点と方法について講義します。	事前に教科書「福祉サービスと援助活動」(p284-300)を読んでください。事後に、社会福祉の視点と方法について要点をまとめてください。	60分
第6回 福祉政策の構成要素①として相談援助活動と福祉政策の関連性について講義します。	事前に教科書「福祉サービスの提供」(p266-282)を一読して要点を確認してください。事後に福祉サービスの提供過程と利用過程の相違をまとめてください。	90分
第7回 福祉政策の構成要素②として福祉サービスの供給と利用について講義します。	事前に教科書「福祉サービスの提供」(p266-282)を再読してください。事後に社会福祉の運営管理部門の機能について要点をまとめてください。	60分
第8回 社会福祉の制度・政策①として社会保障と社会福祉の関連性について講義します。	事前に教科書「社会福祉制度の体系」(p244-263)を一読してください。事後に社会福祉制度の体系を説明できるようにまとめてください。	90分
第9回 社会福祉の制度・政策②として社会政策と福祉政策の関連性について講義します。	事前に教科書「社会政策と福祉政策」(p78-96)を一読してください。事後に社会政策と福祉政策を図示して説明できるようにまとめてください。	90分
第10回 社会福祉の制度・政策③として福祉政策と関連政策の関係を講義します。	事前に教科書「福祉政策の関連領域」(p204-241)を一読してください。事後に福祉政策と関連政策を図示して説明できるようにまとめてください。	60分
第11回 社会福祉の制度・政策④として福祉政策の国際比較について講義します。	事前に教科書「福祉政策の国際比較」(p302-340)を一読して関心のある国の福祉を調べてください。事後に福祉国家の類型についてまとめてください。	60分
第12回 福祉制度の発展段階を理解するために前近代社会と近代社会、そして現代社会の福祉理念と福祉制度を講義します。	事前に教科書「社会の変化と福祉」(p12-30)を一読して現代社会の社会福祉の成立を考えてください。事後に現代社会に社会福祉が成立する理由についてまとめてください。	60分
第13回 戦後日本と社会福祉政策①として日本の戦後改革と社会福祉について講義します。	事前に教科書「福祉政策の発展過程」(p98-119)を一読してください。事後に公的扶助原則と福祉三法体制についてまとめてください。	60分
第14回 戦後日本と社会福祉政策②として高度成長と社会福祉について講義します。	事前に教科書「福祉政策の発展過程」(p98-119)を再読してください。事後に福祉六法体制と皆年金・保険体制についてまとめてください。	90分
第15回 戦後日本と社会福祉政策③として低成長下の社会福祉について講義します。	事前に教科書「少子高齢化時代の福祉政策」(p122-155)を一読してください。事後に福祉見直し論と日本型福祉社会論についてまとめてください。	60分
事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、現代社会の抱える問題について幅広く関心をもってニュースや新聞紙上において情報収集しておくこと。社会福祉の必要性や専門性について興味や関心をもって受講すること。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、70%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。 小テスト(授業成果カード)、授業への積極的関与、試験の結果等を総合的に評価します。 小テスト(授業成果カード)15%、授業への積極的関与15%		
課題に対してのフィードバック		
課題に対してのフィードバック：小テスト(授業成果カード)は次回の授業の開始時に補足説明および解説します。		
教科書・参考書		
教科書：教科書：社会福祉士養成講座編集委員会『現代社会と福祉 第4版』中央法規 2014年 教科書：ミネルヴァ書房編集部『社会福祉小六法2019』ミネルヴァ書房 2019年		